

キャラクター名
アリソンヌ・スプーフィン

プレイヤー名

シンドローム	オルクス ソラリス		ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	資産家
	オプション		年齢	31	性別	女
覚醒	生誕	衝動	闘争	初期侵食率	38	%
出自	謎の出生	経験	親友	邂逅	貸し:レッドドッグ	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	1	0			1	行動値	4
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	5	0	0		5	10	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
謁見制裁	交渉	11r+10		9		
コンバットブリーク	交渉	16r+10		9		
EFiシエントワーク+コンバットブリーク	交渉	16r+10		1D+9		
本気全部載せ(シーン1回)	交渉	22r+10		1D+9		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化ビジネススーツ	14	3	0	0	社会の達成値+4。

所持品	
ゼノネットワーク(ゼノス)	コネ: マスメディア
OEM(神城グループ)	カネカギ: パトロ(対象: 要人への貸し)
コンパクトブリーク(FHリエンジニア)	カネカギ: VIPアカウント(対象: 能力訓練)
EFiシエントワーク(UGN本部)	
特殊急襲部隊(公安特殊犯罪警察)	
ハイパーソサエティ(スイトマガリス)	
能力訓練: 社会	
コネ: 要人への貸し	
コネ: 情報収集チーム	
コネ: UGN諜報部	
コネ: コンサルタント	

合計装甲: 3 合計回避: 0

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ
遺産継承者: 黄金の海賊船	P	N	
ましろ	P 信頼	N 嫉妬	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P: 20 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1		オート					
効果:	衝動判定+LV							
オリジン: サイバー	1	2	マイナ					
効果:	社会の達成値+LV×2							
コンセ: オルクス	2	2	Xジャー					
効果:	C-LV							
領域調整	1	2	Xジャー			交渉		
効果:	判定+LV個							
絶対の恐怖	2	3	Xジャー	視界	対決	交渉		
効果:	装甲無視。攻撃力LVの射撃攻撃を行う。							
領域の声	1	1	Xジャー	-	-	情報		
効果:	情報ゲイスLV+1個							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

怪人二十面相は雑魚である。

何故か? 見た目だけのカスだからである。

心の奥底から湧いてくるのは侮蔑の感情ただひとつであり、その理由は腹の中にあぐらをかいて座っている。「立ち振る舞いに身が入っていない」

なので、私は身分や振る舞いを全て実際に入手している。資産だけではこの世界を変えることはできない。「世界を正す」という言葉に使われている漢字、正すに使われているとおり、正しい方法で世界を変える必要があると信念にしている

スプーフィング: 不正なデータを用いることにより、攻撃者や攻撃用プログラムを別の人物やプログラムに見せかける事を利用すること。アリソンはスプーフィングのレネゲイドビーイングである。

最初は概念から、とあるイギリスの証券会社のシステムプログラムのバグとして生まれ落ちたが、UGNにて存在を保護された。ヒューマンズネイバーによって人型を手に入れてから、見た目を変え続け、スプーフィングらしく身分詐称を繰り返すようになっていたが、反省を含めて入ったUGN施設でPC2に出会った際、「正しいと思うなら、正しいと言っているのよ」という言葉を自分で吐いた際、『自分の中で正しいというものはない』と考えるようになり、これまでいろいろな身分詐称をやめ、PC2と初めて出会った姿で自分を固定した。

理由の一番といえるのは正しいとは何かを追い求めることであるが、今まで出会って手に入れてきたエンブレムやコネは誰でもない、アリソン本人の交渉力のたまものである、それこそ彼女を彼女をたらしめるものである。